

1.産業と経済が元気を取り戻す加西

農業	<ul style="list-style-type: none">・加西の農業は今後発展していくのか・農業の活性化には？・地域の危機感が少ない。・農地を個人で管理することに限界がきている・放棄田や里山の整備が必要・鳥獣害が増加している・猟友会による捕獲では限界がきている・集落単位で農地を管理することも難くなる・国産農産物が見直されつつある。・企業等が広域に管理することが望ましい
産業	<ul style="list-style-type: none">・水道代が高い・農業用水の多目的化・工業地帯がさらに必要である・工業団地の整備（中小企業用）・商業用地の確保が難しい・小規模商店（個人商店含）の減少・中小規模店舗の来店客が減っている
雇用	<ul style="list-style-type: none">・製造業が多い。サービス業等の不足・多様な職場・地元の若い人がよそへ出ている。・地元で働きたくなるような産業が必要・若者の仕事場が必要
公共交通	<ul style="list-style-type: none">・中国自動車道の活用・他市町からの通勤や購買活動が車中心である・利便性が何らかの形で改善すると良い。・勤務先への交通手段をどう考えて行くか。<ul style="list-style-type: none">・高齢者のための公共交通整備・公共交通網の整備。北条鉄道が終着。・年老いたときの交通網など対策が必要。
観光	<ul style="list-style-type: none">・史跡・寺社仏閣が多い。観光として活用・広域でPR（観光、まちづくり）
空家対策	<ul style="list-style-type: none">・就農、就職などの支援・都市部からの農村部流入・滞在型市民農園の開発・空き家対策・法的規則が厳しい・売り手と買い手の意向が合わない・都会から近い田舎（自然）が長所

2. 子どもが元気に育ち、活き活きと活動する加西

人口減少	<ul style="list-style-type: none"> 生活するのに割高というイメージがある 実際、上下水道は高い 人口減少 子どもが少なくなった 子どもの数はこのまま減っていくのか？ 少子化対策（兄弟の増） 子育て世代が加西に住んでもらえるような市の魅力づくり 安心して子育てができるための支援 結婚する人を増やすこと
学校環境（施設）	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の老朽化 特色のある（学校独自の）教育 学校環境の整備（中学校）
子どもの生活	<ul style="list-style-type: none"> ある意味、子どもは充実しすぎ しょーもないことを親はさせない 与えられたもので遊ぶ。昔は自分で考えた 子どもの集団遊び（社会性発達）不足 集団遊びが減っている。なかでも、外遊びが減っている 外で遊ぶことの安全性の問題 兄弟が多く異年齢で遊ぶ機会の減少 自然体験、生活体験が少なくなっている 遊びの指導者が必要 外での遊びを教えてくれる指導者が必要 こういったことが学力につながっていた 今の子どもは忙しい 土日は野球。平日は塾 親が教育熱心すぎるため、子どもが元気に遊ぶことができない 子どもの安全重視か、体力か社会性を育てるのか
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの数は減っているが、特別支援学級、発達障害児童は増加 特別支援教育対象児の増加
地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> 地域と子どもの交流の増 学校の開放・地域との連携 学校社会は閉そく的 先生も地域にねぎすこと 元気に育つには近所のおじさん、おばさんとの交流が少ない 先生は子どものことはわかるが、地元とかかわることが必要 学校と地域というよりは（先生と地域）
家庭内教育	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の教育力低下 親の世代の成長 家庭内で両親とも疲れていないか？ 難しい親が増えたため、教育者が親の目線を気にして、教育して 親の世代の成長。親に教育できる力がないまま親になっている30 難しい親が多い 教育者が親の目を気にして自分の教育できない 両方の親が働くことが多くなると親と子との接する機会が減って 親が教育熱心。元気で遊ぶことができない 親の教育力の低下（自分も含めて）
生涯教育指導者	<ul style="list-style-type: none"> スポーツの指導者が不足している（役をおしつけられてしている スポーツ等の指導者不足 生涯教育のリーダーの養成 地域のボランティアを育成する コーディネーターが必要 その役割を担うところをつくる
愛着心	<ul style="list-style-type: none"> 問題 公共交通が不便（会社・学校に通えない） 郷土への愛着が育っているか？ 地元で働きたい 仕事や企業があるのか 大人になった時に働きたいと思える仕事があるか？ 就学、就職する人が加西や家を離れて戻ってこない 住むところの問題 雇用の受皿が小さくなった 地元になりたいと思える愛着を抱いているか、理解させているか

3. 誰もがみんな元気で、健康に暮らせる加西

コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ とより近所の関係が希薄になっている ・ 老々介護 ・ 核家族・女性が社会に進出することにより、子育て力の低下 ・ 保育サービスの充実が求められる ・ 人間関係の希薄化 ・ 世代間交流が希薄になった ・ 市役所と地域の健康づくりネットワークがまだ不十分 ・ 漠然とした将来への不安 ・ 子育てに関する相談できる場の充実 ・ 子どもを連れて安心して出かけられる場 ・ 個人あるいは家庭が健全な生活を送るため、地域の関わり結びつきが ・ 若者が高齢者を助ける仕組みづくり。若者の流出を防ぐ ・ かしの木学園への参加で外に出る習慣づくり ・ 生きがいづくり（将来への希望、生きがいづくり） ・ 地域行事
市民意識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3食きちんと食べるなど基本的な生活習慣がすたれている ・ 健康意識が低い ・ 若い人に世話になりたくないとする高齢者もいる ・ 健診・健康づくり ・ 健康に対する意識づけ（健康問題への脱メタボ啓発） ・ 食習慣・生活習慣 ・ 良い食品の提供・生産
人口問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化の進行 ・ 高齢者単独世帯増加 ・ 少子・高齢化が進んでいる
経済問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療費の増加 ・ 子育て世代 安定雇用が確保できない人が増加 ・ 家庭内での医療費・子育てなどの不安が増えている ・ 経済的な問題
社会保障	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療費が増加している
既存施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの遊び場が少ない ・ 10年前、自然のなかで田畑で駆け回っていたが、年齢に応じた遊びを ・ 福祉センターが活用されていない ・ 気軽に健康づくり（運動）できる施設又はスペースが少ない ・ 幼稚園・保育所の老朽化が進み、決して良好な環境で保育が行われて ・ 市民が使えるプールがない（健康増進施設）
病院・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加西病院の医師がすぐ変わる。 ・ 小児科の数が少ない（医師） ・ 勤務医不足、救急医療 医師不足 ・ 病院経営の基盤強化
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 散歩する人は多いが、ウォーキングコースや歩道、防犯灯の整備が足 ・ 交通の不備のためライフラインに影響してくる ・ 公共交通機関が少なく、高齢者が医療機関での受診が受けにくい ・ 外に出かけても、トイレがバリアフリーになっていなかったりして、 ・ 公共交通機関の整備 ・ 施設のバリアフリー化
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機についてのボーダーラインの設定ができていない。 ・ 地域間での医療・福祉の密度の違い ・ 制度が複雑になり、利用者のことを考えていない。 ・ 快適な住環境整備

4. 地球に優しい環境社会をつくる加西

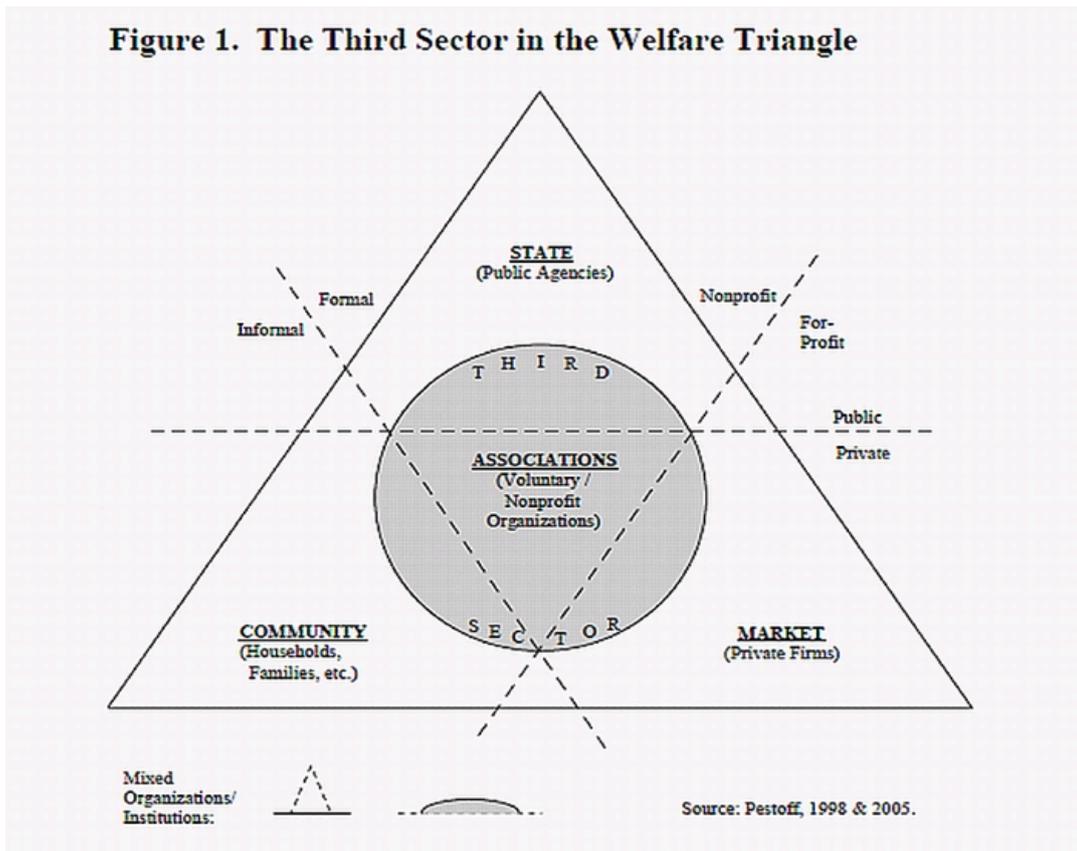
新エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脱化石燃料 ・ メガソーラー ・ 加西ハイツ 建て替え時期 ・ ソーラー住宅の推進 ・ 植物からエタノール ・ 市民発電所 ・ 間伐材の有効利用 ・ スマートグリッド
自然との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来種 ・ 生態系 ・ 農薬等の使用を減らす ・ アライグマ、ヌートリア、ジャンボタニシ ・ ブラックバス、ブルーギル ダムの水を止める ・ 農地の保全
交通環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北条鉄道の電化 ・ 家庭の人数分の車両の所有 ・ 自動車の増加 ・ 電気自動車の普及 ・ 北条鉄道電動車両導入 ・ 公共交通機関維持 ・ (環境) ガソリン税の導入 ・ 水素自動車の導入 ・ 歩くことの推進 ・ 自転車
水	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道の完全接続 ・ 上水道の水源確保 ・ 下水道事業の広域化
ゴミ問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄 ・ 最終処分場 ・ ゴミの燃料化 ・ 野焼き ・ 公害 ・ リサイクルの推進 ・ ゴミの更なる減量化 ・ ゴミの燃料化 ・ 野焼き ・ 公害 ・ リサイクルの推進 ・ ゴミの更なる減量化
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化対策 ・ 環境教育(体験)の推進

5. 市民参画・男女参画で地域を元気にする加西

地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保守的 ・ 受身的風土 ・ 行政のニーズの多様化 ・ 市役所のやるべき領域のあいまいさ ・ 公の仕事の領域が不明確 ・ 市役所は大きい課題を示しすぎ・・・ ・ 予算の地域差 ・ 地域ベクトルが定まっていない。 ・ 地域事業のマンネリ化 ・ 地域の目的が無い ・ 役員は定期的に交替してしまう ・ 地域参画意識の低下 ・ 同じことの繰り返し ・ やる気の低下 ・ 活動人口の低下（消防・行事） ・ 加西市全体を同じサービスをしようとして地域性が出ない。 ・ 地域より個人重視
解決策（案）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算の地域性配分 ・ 特色のある地域サービスの提供 ・ 先進地のマネ ・ 地域競争 ・ やる気のある地域に重点予算 ・ 地域の統合 （例）小学校区→中学校区 ・ 中核人材の発掘 ・ 市役所組織改正 ・ 女性のポストT確保、工夫 ・ 教育意識改革
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公の解釈の変更 ・ 解決手法 ・ 意識改革
ペストフの三角形	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三の公共 ・ NPO ・ 地域団体

平成22年2月25日 庁内PT第3回

Figure 1. The Third Sector in the Welfare Triangle



STATE 公共
 COMMUNITY 地域
 MARKET 市場
 ASSOCIATIONS NPO等

平成22年2月25日 庁内PT第3回